

平成19年度 事業報告書

I 一般事業の概要

- 調査研究事業については、奈良・松戸事業をフィールドとした調査、研究を行いました。
- 助成事業については、介護福祉士等を目指す専門学校生等へ引き続き奨学金助成を行いました。

1. 調査研究事業

- (1) 生きがい増進
 - ・地域を含めた生きがい増進の活動拠点である『高齢者総合福祉センター』で、文化教養講座、カルチャー教室、コンサート等を実施しました。
- (2) 福祉サービス
 - ・奈良・松戸両有料老人ホームにおける入居者のCS向上を図るための接遇向上取組を、昨年度に引き続き両施設内の接遇委員会と現場職員が主体となって推進し、独自の「接遇マニュアル」を作成するとともに、その活用を含めた研修会や挨拶用語復唱の取組等を実施しました。
- (3) 総合生活支援サービス
 - ・地域に密着した事業推進を目的として、奈良新聞社の企画した中高齢者対象のイベントに協賛するとともに、財団ホームページの改訂、講演会の開催等、奈良・松戸両施設ともに地域住民、顧客、入居者を対象としたパブリック・リレーション活動を継続しました。
- (4) まちづくり
 - ・奈良・松戸両有料老人ホーム見込客で情報登録を了解頂いたお客様を対象に、有料老人ホームに対する意識や行動についてアンケート調査を実施し、情報提供のより効果的な方法や有料老人ホームへの関心ポイント等について調査、研究を行いました。
 - ・また、調査を支える情報インフラとして、奈良・松戸の顧客管理システムの見直しに取組みました。

2. 助成事業

- 介護マンパワーの育成を支援する観点から、介護福祉士、理学療法士、作業療法士を目指す専門学校生等への奨学金助成を行いました。
- 1名当たり助成金は年間24万円、年間対象者は50名です。

II 奈良・松戸特別事業の環境・業界動向について

- 有料老人ホーム事業では、低価格型から高級型まで様々なタイプのホームが出現するとともに、高専賃（高齢者専用賃貸住宅）なども含め、高齢者住宅は多様化しつつ、増加の一途にあり、入居者確保の競争も一層激化してきました。

- 在宅介護・看護関連事業では、平成18年4月実施の介護・診療報酬改定による収益の減少に対応するための諸対策が各事業者によって試行されましたが、一方で、大手介護事業者による不祥事が社会問題化し、業界の再編につながることとなりました。

III 奈良・松戸特別事業の概要

- 開設16年目の奈良事業では、①利用者の視点に立ったサービスの提供、②経営基盤の安定化、③人材育成、人材活用、④複合施設であることを生かした各施設間の連携、⑤地域との連携、交流を重点課題として取組みました。
- 開設11年目の松戸事業では、期末に一般居室が満室となり、安定期を迎える一方で、入居者の加齢と共に要介護等認定者数も増え、介護サービス量も増加しました。重点課題として、①サービスの質の向上、②人材の育成、③経営基盤の安定化、④リスク管理体制の強化、⑤メンタルヘルスへの取組強化、⑥地域社会及び他事業者と連携した事業展開に取組みました。
- 在宅介護・看護関連事業では、介護・診療報酬改定による収益の減少のほかに、介護看護職員の確保が厳しくなったことによる求人経費増等があり、厳しい事業収支となりました。そのため松戸では在宅介護関連事業の見直しを行いました。
- 奈良・松戸両有料老人ホームを合わせた入園一時金収入は計画を達成したものの、入退去件数が低水準に止まっているため、資金収支は引き続き厳しい状況にあります。そのため昨年度に引き続き運転資金として本年度10億円の追加借入を行いました。

1. 奈良事業

(1) 有料老人ホーム関連事業

① 有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業] 【奈良ニッセイエデンの園】

- ・一般居室の募集実績12戸は計画どおりとなりましたが、一方で死亡退去戸数や介護居室への住替えの増加もあり、一般居室の空室は年度末16戸と対前年増加しました。その結果、年度末の介護居室を含めた入居契約数は373戸（入居率94.0%）となりました。新年度は、空室の早期入居契約の確保に努力して参ります。

（一般居室346戸/362戸（95.6%）、介護居室27戸/35戸（77.1%））

- ・入居者の平均年齢は初めて80.0歳（男性79.9歳、女性80.1歳）に達しました。

（前年度比0.4歳上昇）

- ・介護予防の取組では、「いきいきサロン」や「介護予防教室」等を定期的に開催し、介護予防活動の定着化に努めました。
- ・総入居者数470名のうち要介護等認定者数は、年度末98名と前年より3名の増加となりました。
- ・食事の内容、サービスのあり方や食堂収支を検討し、8月に大食堂委託業者を変更しました。

② 診療所

【ニッセイ聖隷クリニック】

- ・特定健診、特定保健指導の導入準備を行う一方、人間ドックオプションに胃カメラ等を付加し、内容の充実を図る等、利用者の視点に立ったサービスの提供を柱とした事業運営を推進し、ほぼ前年度水準の利用状況となりました。当直医の確保が課題となっています。

③ 疾病予防運動センター 【ニッセイ・アーク西大和】

- ・退会者数は減少したものの、新規会員数が伸び悩み、年度末外部会員数は642名と、前年度よりも減少（対前年16名減）となりました。安定的な運営のために外部会員の確保に努めて参ります。
- ・会員の平均年齢が50歳を超える等高齢化が進んだことから中高齢者プログラムの充実と担当制による会員へのきめ細かい指導に努めました。

④ 高齢者総合福祉センター 【ふれあいプラザ】

- ・文化教養講座では、日本画家上村淳之氏による美術講演会に100名を超える参加者があり、好評を得ました。人気のある歴史関連講座、美術館等見学会のほか、絵手紙教室、フラワーアレンジメント等、幅広いジャンルの講座を開催しました。
- ・音楽鑑賞会では、関西学院大学グリークラブ、ソプラノ歌手、楽器演奏等による生の演奏会を開催し、好評を得ました。

(2)在宅介護・看護関連事業

① 在宅介護サービスセンター [訪問介護、福祉用具貸与事業] 【ニッセイせいれい在宅介護サービスセンター 西大和店・奈良店】

- ・西大和店、奈良店ともに、介護保険制度改正、介護報酬改定等の影響により、訪問介護の利用者数は対前年減少となりました。

② 訪問看護ステーション [訪問看護事業] 【訪問看護ステーション西大和・奈良】

- ・西大和店では、医療保険対象者の利用者数、訪問件数が減少し、介護保険対象者も伸び悩んだ結果、全体の利用者数、訪問件数ともに対前年減少となりました。
- ・奈良店では、昨年度に引き続き居宅介護支援事業所への渉外活動を行った成果として、利用者数が前年を上回り、訪問件数の増加につなげることができました。

③ ケアプランセンター [居宅介護支援事業] 【ニッセイせいれいケアプランセンター西大和、ニッセイせいれい在宅介護サービスセンター 奈良店】

- ・介護保険制度改正により、ケアマネ業務の質の向上が求められるようになったことを受けて、西大和店、奈良店ともに、ケアマネ一人一人のスキルアップと日々の業務改善に努めました。
- ・西大和店、奈良店ともに、ケアプラン作成件数（介護給付）は対前年減少となりました。

④ デイサービスセンター 【河合町デイサービスセンター】(河合町受託)

- ・近隣に介護福祉施設が増加する中、利用対象者が町内住民に限られていることから新規利用者の確保が難しく、利用件数は対前年減少となりました。

(3)老人保健施設 [介護老人保健施設、通所リハビリテーション、短期入所療養介護] 【奈良ベテルホーム】

- ・リハビリ職員と介護看護職員との連携により、日々の援助に生活リハビリを積極的に取り入れるなど利用者の視点に立ったサービスの提供に努めました。
- ・周辺病院や居宅介護支援事業所への利用者紹介依頼の渉外活動に取組む一方で、家族会の定期開催、ボランティアグループ、近隣の小学校等との交流機会を増やす等、地域に根ざした施設運営を心がけた結果、利用者数の増加を図ることができました。引き続き利用者の確保に努めて参ります。

2. 松戸事業

(1) 有料老人ホーム関連事業

① 有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業] 【松戸ニッセイエデンの園】

- ・一般居室の募集実績は計画を達成する10戸となった結果、年度末一般居室は満室となり、年度末の介護居室を含めた入居契約数は337戸（入居率97.1%）となりました。今後の新たな空室の早期の入居契約募集が課題となっております。
- ・入居者の平均年齢は、79.6歳（男性80.5歳、女性79.2歳）となり前年度比0.9歳上昇しました。
- ・介護予防では、一般居室では「転倒予防体操」、「はつらつ体操」、「脳いきいき教室」、「健口体操」等を、介護居室では認知症の進行予防のための漢字や計算ドリル、塗り絵、音楽療法等を日々のアクティブに取り入れました。
- ・総入居者数439名のうち要介護等認定者数は、年度途中増加し、年度末では84名と前年より6名の増加となりました。
- ・食事の内容や食堂収支を検討し、4月に食堂委託業者を変更しました。

② 診療所 【松戸ニッセイ聖隷クリニック】

- ・定期健診後のフォローアップ、生活機能評価表による介護予防への関わりや医療管理の必要な入居者へのサポートを継続して行ったものの、外来受診の増加には至りませんでした。

③ 疾病予防運動センター 【ニッセイセントラルフィットネスクラブ 松戸】

- ・20～30歳代の入会会員数が減少傾向にある中、奈良と同様、会員の平均年齢は50歳を超え、中高年の会員が年々増加してきました。近隣に新たな競合店が出現したこともあって、年度末外部会員数は1535名と対前年減少となりました。外部会員の回復が課題となっています。

④ 高齢者総合福祉センター 【ニッセイ松戸アカデミー】

- ・音楽大学生やプロ演奏家を招いたロビーコンサートは、引き続き人気が高く、毎回多くの参加を得ました。バスタワーは「音楽会とグルメ」等の都市型企画が好評を博し、また、講演会では「健康」や「資産運用」のテーマに人気が集まりました。

(2)在宅介護関連事業

○ 在宅介護サービスセンター

【在宅介護サービスセンター ヘル松戸店】

① ホームヘルプサービス事業 [訪問介護事業]

【ニッセイケアヘルパーステーション】

- ・新規利用者の確保に努めましたが、一方で、要介護度の高い利用者の契約終了が相次いだことから訪問回数、訪問時間ともに対前年より減少となりました。
- ・ヘルパーへの勉強会の実施や定例ミーティングを通じた情報の共有化の推進を通じ、一人一人の専門的スキルアップに努めました。

② デイサービス事業 [通所介護事業]

【ニッセイケアデイサービスセンター】

- ・月間延べ利用者 300 名未満の小規模型事業所として、最小の職員配置による運営を続けてきましたが、利用者へのサービスの充実や経営の効率化を検討した結果、隣接する松戸愛光園（社会福祉法人聖隷福祉事業団経営）のデイサービス事業への統合を進めていくことになりました。